

審判講習会 参加報告書

平成 28 年 3 月 31 日

報告者 二宮 光司

この度参加しました、審判講習会について報告します。

なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第 29 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2016
参加者 (報告者)	二宮 光司 (所属カテゴリー) 中体連
期 日	平成 28 年 3 月 27 日 (日) から 平成 28 年 3 月 30 日 (水)
会 場	東京体育館・越谷市立総合体育館・上尾運動公園体育館・市川市塩浜市民体育館 浦安市運動公園総合体育館・横浜文化体育館・川崎市とどろきアリーナ
講 師	安西 郷史氏・中山 泰夫氏・星川 良一氏・渡辺 整氏
参加者	各都道府県推薦審判員 47 名、自費審判員、関東派遣審判員等 合計 222 名
報告① <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技講習 <input type="checkbox"/> ゲーム (該当に <input checked="" type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> 実技講習 モデルゲーム 横手青陵 対 甲府西 主審 二宮光司(報告者) 副審 中村 祐貴氏(岐阜県) 主任 御手洗 亮 氏 ■講習内容 及び ミーティング内容 高校生のモデルゲームを行った。今大会のテーマとして「影響」と「player first」が挙げられていた。主任の御手洗氏からは、影響を考えたときにとらなくても良いファールがいくつもある。選手のレベルやマッチアップをよく見て、feel the game を意識すると良いとアドバイスをいただいた。
報告② <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に <input checked="" type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> ゲ ー ム 主審 二宮 光司(報告者) 副審 須藤 健吾氏(北海道) コート主任 本間 充氏(東京都 A 級) ■講習内容 及び ミーティング内容 男子予選 E リーグ 東京 B 対山口 お互いの責任エリアをしっかりと判定していくこと、アウトオブバウンズを協力して行くことを確認してゲームに臨んだ。試合後のミーティングでは、リードの位置取りをもう少し開くことを意識すること、最後まで細かく判定していきしっかりとゲームを終了させることを指摘していただいた。主審としてベンチ管理に気を配ったが、アピールなどが多かった。ファールの後のプレゼンテーションを意識するとアピールも減ったのではないかと指摘していただいた。

<p>報告③ <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 <input checked="" type="checkbox"/> ゲーム (該当に レ)</p>	<p>□ゲーム 主審 望月 公平氏(広島県 A 級) 副審 二宮 光司(報告者) コート主任 阿部 敬太氏(岩手県 A 級)</p> <p>■講習内容 及び ミーティング内容 男子準々決勝 福岡対埼玉</p> <p>決勝トーナメント 2 回戦、勝った方が最終日のベスト 4 に残るゲームを担当させていただいた。お互い勝ち上がり能力が高いので、なるべくプレーをきらないように意識してゲームに入った。試合後のミーティングでは、細かく丁寧にスペースをみて思い切りよく判定していたとコメントをいただいた。ゲーム終盤でのアンスポを取り上げたケースについてよく決断したと言っていた。後ほど玉木彰治氏から、「よく見ていたが、見えたものを取り上げたという感じだった。見えたものを判定する力をつけてほしい」とアドバイスをいただいた。</p>
<p>所感</p>	<p>今回で 3 回目となる Jr オールスターへの参加でした。これまでとは違い主審をさせていただいたり、重要なゲームの割り当てをいただいたりしたことで、今後自分が取り組まなければ行けない課題が明確になりました。</p> <p>単にスペースを見つけプレイを見るだけでなく、それが選手やベンチが意図して行っているプレイなのかを見極めることや、異質なプレイを取り除くだけではなく、その後に残ったバスケットのプレイに判定を加えていくことが、今回のテーマでもある「影響」と「player first」つながっていくと感じました。この課題をクリアしていくために、今まで以上に意識したレフェリングを積み重ねていこうと思います。</p> <p>今回、改めて東京をはじめ、関東の審判員や生徒の協力を助けられた Jr オールスターであることを感じました。この感謝の思いを忘れず今後も活動していこうと思います。このような機会をいただいた皆様に心より感謝いたします。</p>